

まちづくりワークショップ 開催結果報告

新たな第5次釧路町総合計画に取り入れる「協働の指針」を、住民と役場職員が一緒になり考えるワークショップを全5回実施しました。

■開催データ

- 第1回：日時：平成22年6月24日（木）13：30～15：30
会場：あいぱーる「ふれあいホール」 参加者 36名
- 第2回：日時：平成22年7月23日（金）13：30～15：40
会場：あいぱーる「ふれあいホール」 参加者 23名
- 第3回：日時：平成22年8月20日（金）13：30～15：30
会場：別保コミュニティセンター「大会議室」 参加者 67名
- 第4回：日時：平成22年9月28日（火）13：30～15：30
会場：別保コミュニティセンター「大会議室」 参加者 58名
- 第5回：日時：平成22年10月27日（水）13：30～15：30
会場：別保コミュニティセンター「大会議室」 参加者 56名

■講師（ファシリテーター）

NPOファシリテーションきたのわ
代表 宮本 奏 さん

■運営協力

NPO法人くしろ・わっと
事務局長 廣島 悠 作さん
ほか事務局職員のみなさん



第1回ワークショップ（6月24日）

ワークショップがはじめてとなる参加者もいるため、まずは「ワークショップを体験する」ことを目標に、2つの統一テーマ設定し、全体を5つのグループにわけ実施しました。

テーマ1 「10年後、どんな釧路町になってほしいのか」

【参加者から出た主なキーワード】

元気で積極的な人を増やそう・地域コミュニケーションで子育てを・町内会の大切さ・手助けをしたい人、手伝ってもらいたい人の声掛け・高齢者のパワーを活かす・カキなどのブランド化をすすめる・釧路町の宣伝PRを・地域をしっかり残していく取り組みを・住みたいまちづくりへ・サロンや地域活動は世代間交流になる など



テーマ2 「理想のまちづくりのために誰と一緒にどんなことをやってみたいですか。」



【参加者から出たキーワード】

釧路町を愛することができる子供を育てる・みんなでポイ捨てしないまちづくり・世間話をしながら活動できる機会・笑いがあるまちづくり・世代に関係なく話し合える生涯・若者が地域に残れるような政策・町内巡回バスが走る街・町内会活動が活発なまち・子育て中の母親へ地域の人が生活の知恵を・有償ボランティアを進める・町議ひとりひとりと会話したい・3世代同居の取り組み など

第2回ワークショップ（7月23日）

協働の指針づくりに向け、「協働」という言葉をワークショップと講義を交えながら、理解を深める取り組みをしました。

【釧路町における協働の定義】

「協働」とは、町民、地域、役場がそれぞれ役割を理解し、協力しながらまちづくりをすすめること。

※ 「釧路町町民参加と協働のまちづくり基本条例」で定義しています。

【参加者から出たキーワード】

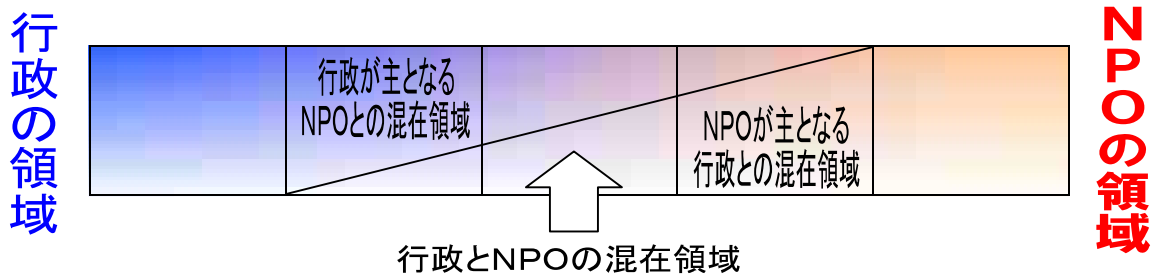
●新たな協働の取り組みとは

子育てママのサポート・リサイクル事業・まちの特産品開発・ハト対策・通学路の除雪・地域ぐるみの子育て・地産地消・雪裡歩道橋の清掃・オヤジの力借りたい・増えすぎたエゾシカ対策・通院支援・買い物支援・放課後こども教室・学童の預かり・議員と行政と住民（10年後の釧路町づくり）・両隣との親睦・仲間とのウォーキング・認知症徘徊を探す・声かけ運動 など



●協働の領域について講義から

（行政とNPOの協働の領域について）



第3回ワークショップ（8月20日）

第1回でのワークショップの体験、第2回での協働という言葉の講座を終え、「協働の指針」づくりを5つの専門部会に分かれ実施しました。

まずは、総合計画の各分野の基本項目について部会ごとでワークショップを行い、理解を深めました。

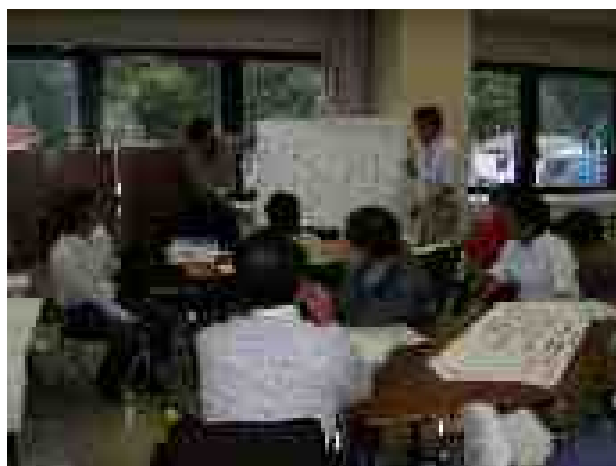
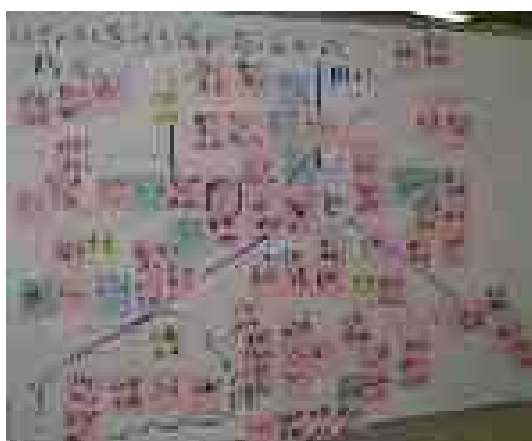
- 【5つの専門部会】
- 保健・医療・福祉部会
 - 産業・観光・自然環境部会
 - 教育・文化部会
 - 都市基盤整備部会
 - 地域再生・協働部会



第4回ワークショップ（9月27日）

協働の指針づくりに入り、2回目の合同でのワークショップ。

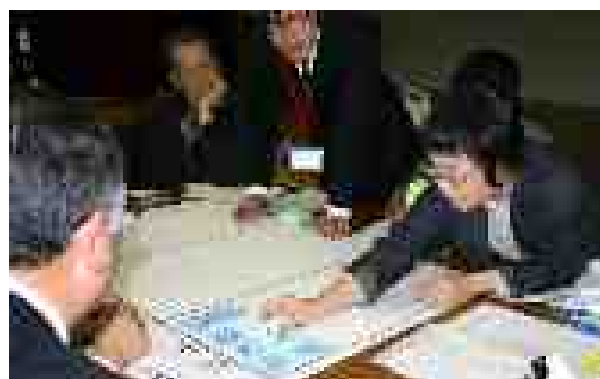
各部会での議論も活発化し、都市基盤整備部会では、分野別に3つの小グループに分けて議論を開始しました。



保健・医療・福祉部会では、基本項目ごとに町民、地域（団体）、行政の役割についてワークショップ形式で協働の指針づくりに着手しました。

第5回ワークショップ（10月27日）

ファシリテーターが指導するワークショップは今回が最後となり、各専門部会でも地域再生・協働専門部会も2つのグループ分け「地域コミュニティの活性化」をテーマに役割を検討しました。



教育・文化部会では、地域の教育力などの資料をもとに、産業・観光・自然環境部会では農業を中心に熱心な議論が展開されました。

今後も各専門部会での「協働の指針づくり」を続け、平成23年2月ころに、このワークショップ参加者や地域住民を対象に報告会を行います。